

フレッシュライト  
ミルクヘアカラー

## 使用説明書 (手袋付き)

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

- 1箱全量でセミロング約1回分です。

使用方法、その他についてご質問がありましたら、お客様相談室まで、お問い合わせください。

お客様相談室

☎03-5783-4271

受付:土・日・祝日を除く  
10:00~12:00/13:00~17:00

ヘンケルジャパン株式会社  
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8

AG.C

## 使用上のご注意

### 1. 次の方は使用しないでください

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方。
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方。
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方。
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)。
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方。
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方。
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)。

### 2. 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には次の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前夜1週間はパーマメントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

### 3. 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気のよいところで使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗や皮脂等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

### 4. 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。
- ② 混合した薬剤は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあり危険です。

### 5. 保管上のご注意

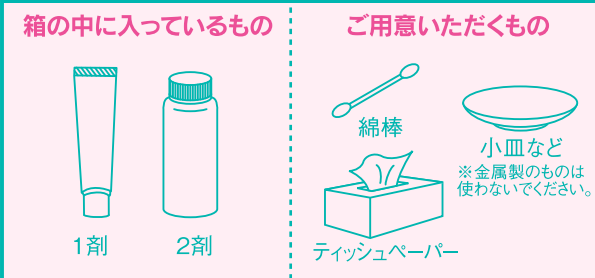
- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光を避けて保管してください。

## ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪の生え際・顔・首筋などに、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかず、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

## 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)時に必要なもの



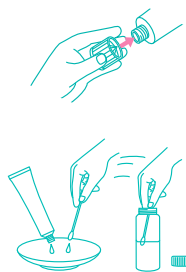
### 染毛の2日前(48時間前)には、毎回必ず行ってください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、アレルギーの有無をチェックするための簡単なテストです。ある食品、化粧品、医薬品などでアレルギー反応をおこす人がいるように、ヘアカラーでアレルギー反応をおこす人がまれにいます。ヘアカラーのアレルギー反応は、初回の染毛時のテストで異常が認められなくても、何回目かに初めて異常が認められる場合もあります。染毛のたびに毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

### 1. テスト液をつくります。

テスト液は1剤と2剤を1:2の割合で混ぜてつくります。

- (1) 1剤チューブのキャップをはずし、キャップ頭部の突起で、チューブの口に穴をあけます。ごく少量を小皿に出します。
- (2) 2剤のキャップをはずし、綿棒を使って小皿の上に1剤の2倍量の2剤をとり出します。
- (3) 新しい綿棒で充分に混合し、テスト液をつくります。



### 2. テスト液ができたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させます。

- テスト液が乾燥するまで、衣服につかないようにご注意ください。30分くらい放置しても乾かない場合はテスト液のつけすぎですから、余分なテスト液をティッシュペーパーなどで軽く拭き取ってください。
- テストをした当日は、なるべく入浴しないでください。やむをえず入浴する場合は、テスト部位をぬらさないでください。



### 3. そのまま触れずに48時間放置します(時間を必ず守ってください)。

テスト液を塗ったところは、絆創膏等で覆わないでください。

### 4. テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回は必ず行ってください。

- そのとき、塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。
- 途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落とじて染毛しないでください。
- かぶれた部位などは手などでこすらず、すぐに皮膚科専門医の診療を受けてください。

### 5. 48時間たって異常がなければ、すぐに染毛してください。

※日をおくと体質が変わることがあります。皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は毎回必ず染める前に行ってください。

## ご使用前の準備

### 必要なものの準備



### ご用意いただくもの

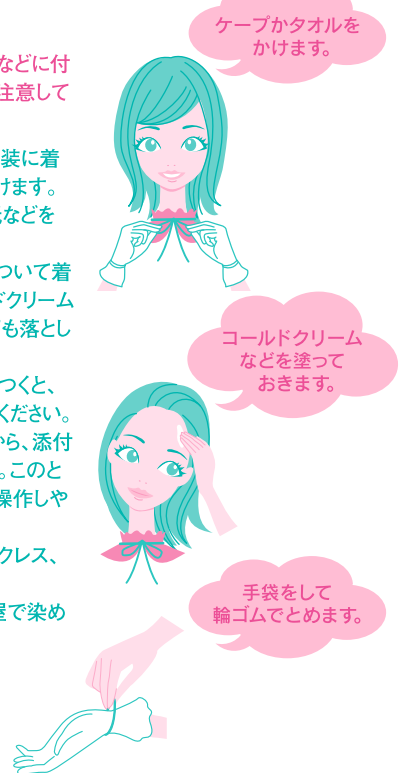


### 髪の状態

- 前洗いの必要はありません。ただし髪の汚れのひどいとき、カラスプレーなどの一時染毛料や多量の整髪料などをご使用のときは、前日に洗髪しておいてください。

### 身じたく

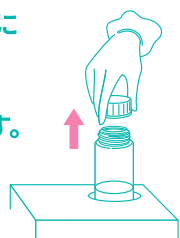
- ※薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。
- 汚れてもかまわない前あきの服装に着替え、首にケープかタオルをかけます。
- 床などが汚れないように新聞紙などを重ねて敷きます。
- 生えざわや耳や首に混合液がついて着色するのを防ぐために、コールドクリームなどを塗っておきますと、ついても落としやすく便利です。ただし、コールドクリームが髪につくと、染まりにくくなりますのでご注意ください。
- 爪も髪と同じように染まりますから、添付の手袋をはめてお使いください。このとき手首を輪ゴムでとめておくと操作しやすくなります。
- メガネ、イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪は、はずしてください。
- 寒いときは、なるべく暖かい部屋で染めてください。



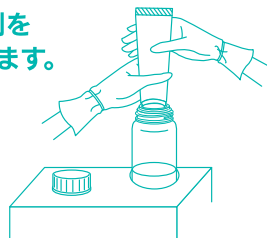
準備ができたら裏面▶

## 1 使用直前に混合液をつくります。

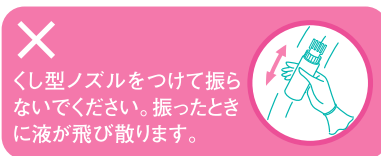
① 箱の裏側のミシン目にそって穴をあけ、2剤容器を固定し、平キャップをあけます。



② 2剤に1剤を全量入れます。

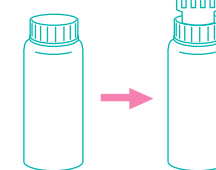


③ 平キャップをしっかりとしめ、上下に30回ほど強く振り、充分混合します。



④ すぐに平キャップをはずし、くし型ノズルにつけかえます。

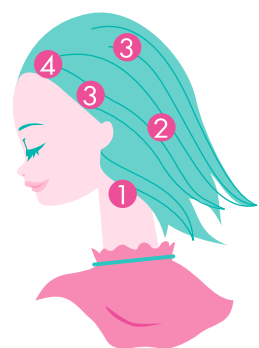
※混合液の色は徐々に変わります。また、仕上がりの髪色とは異なります。



### △ 混合した後のご注意

- ※ 混合液を密栓したまま放置しないでください。ガスが発生し容器が破裂するおそれがあり危険です。
- ※ 混合液ができましたらすぐに髪に塗りはじめてください。そのまま放置しておくと、ガスが発生し容器からあふれるおそれがあります。

## 2 混合液を髪に塗ります。



### 塗布する順番

- ④ 前髪・生えざわ
- ③ サイド・トップ
- ② 頭のうしろ
- ① えり足

- 目のあらいクシで髪をよくとかしてほつれをのぞき、クシ通りをよくしておきます。
- 乾いた髪にご使用ください。

### △ 染める時のご注意

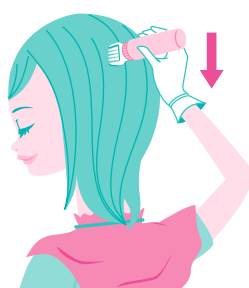
- ※ 混合液が顔や皮膚についたときは、すぐに水で湿らせたティッシュペーパーなどでふきとってください。時間がたつほど、とれにくくなります。
- ※ 金属製のヘアピンやクシなどは、熱をもち髪を傷めることがありますので、使用しないでください。
- ※ 混合液が目に入らないよう、特に注意してください。
- ※ 使い残した混合液は、再使用できませんので必ずすててください。

## 初めての方・髪全体のヘアカラーをする場合

### 毛先の塗布時間…約10分

① 染まりにくいえり足から順に塗布してください。混合液を、髪の根元から2~3cm離れた部分から毛先へ塗ります。

※非常に明るい部分は、染まりすぎることがありますので最後に塗ってください。



### 根元の塗布時間…約5分

② 髪の根元に混合液を塗ります。頭の後ろの染まりにくいところから塗り始めてください。髪全体に混合液を塗った後は、ムラにならないように手でやさしくもみ込んでから、最後に目のあらいクシで混合液をのばします。



※目の細かいクシは、髪についた混合液をとってしまうので、使わないでください。

### 放置時間…約20分(標準)

③ 時々、ティッシュペーパーなどでふきとり、髪色をチェックしながら放置します。※ふきとった部分は混合液をつけ直してください。



※ 30分以上の放置は髪を傷めますのでおやめください。※ 地肌に刺激のある場合は、すぐに洗い流してください。

※ 仕上がりの髪色は、ご使用前の髪色、髪の傷み具合、髪質、室内温度、放置時間により異なります。

## 新しくのびた部分のヘアカラーをする場合

※新しくのびた部分がかなり長い方は、上記の「初めての方・髪全体をヘアカラーする場合」の使用手順に基づいてください。

### 根元の塗布時間…約5分

① 新しくのびた部分だけ塗ります。



### 放置時間…約15分

② 時々、ティッシュペーパーなどでふきとり、根元の髪色をチェックしながら放置します。

※ふきとった部分は混合液をつけ直してください。



### 全体にのばして放置…約15分

③ 最後に目のあらいクシで、混合液を髪全体にのばしてください。髪全体が均一な髪色になるまでチェックしながら放置します。



### くし型ノズルワンポイントテクニック



One Point

### 髪をとかす要領で!

クシの先が髪の中に隠れるように、頭皮に沿ってとかすと、きれいに塗れます。液だまりの作用で、髪の根元にたっぷり液がつき、しっかり染まります。



### 後頭部を塗る場合

後頭部からえり足にむかって(上から下へ)手を添えながら髪をとかすように混合液をつけます。その後、混合液をなじませるように、もみ込みながらつけると、きれいに塗れます。



### 毛の長い方で毛先を塗る場合

くし型ノズルに手を添えて混合液をだし、もみ込みながらつけると、きれいに塗れます。



### 側頭部を塗る場合

ノズルは下向きに使用すると、簡単に塗布できます。



### 生えざわを塗る場合

生えざわを塗布する時は、少しずつ液を出してください。出しすぎるとタレ落ちや飛び散りで液が目に入るおそれがあり危険です。

※ 髪の流れに逆らってとかすと、混合液が飛び散る場合があります。

## 3 洗い流し、よく乾かします。

ご希望の髪色になりましたら、ぬるま湯で十分にすすぎ、シャンプーをした後、フレッシュライトのヘアマスクなどで仕上げます。汚れてもかまわないタオルでふいてください。



### △ 洗髪・乾かす時のご注意

- ※ 洗髪時の洗い液が目に入らないよう、特にご注意ください。
- ※ 目に入ったときは、すぐに水またはぬるま湯でよく洗い、眼科医の診療を受けてください。自分の判断で目薬を使用しないでください。
- ※ 髪は十分に乾かしてください。半乾きの状態では枕カバー、衣服等に色がつくことがあります。

### △ 使用後のご注意

- ※ 再度ブリーチやヘアカラー(ヘアマニキュアを除く)を使用される場合は、髪や地肌への負担を考慮し1週間以上の間隔をおいてからご使用ください。
- ※ 次のような場合には、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。
  - ・髪がぬれているとき。(運動などで多量の汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後など。)
  - ・育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髪用品を多量に使用したとき。

※くし型ノズル、2剤容器は、すぐ水などで軽くすすぎ、混合液を洗い流してから、ビニール袋などで包んで、各地域の指定の分別に合わせて、ごみに出してください。